

授業計画書(シラバス)

教科名	ガラス工芸史	曜日 時間	9:00～17:00	担当教員名	畠山 耕造
-----	--------	----------	------------	-------	-------

	前期指導案		後期指導案	
(年間 授業 回数) 日	4月		10月	14
	5月	27(休講)	11月	
	6月		12月	24
	7月	15	1月	
	9月	23(追加)	2月	
方授 法業	(講義)・実技)		(講義)・実技)	
授 業 内 容	古代から現代に至るガラス工芸史 1. 古代オリエントのガラス 2. ローマ時代のガラス 3. 中世ヨーロッパのガラス 4. ビザンティンのガラス 5. ササン朝ペルシャのガラス 6. イスラムのガラス 7. ヴェネチアのガラス		古代から現代に至るガラス工芸史 1. 近世のガラス:ボヘミアとドイツ 2. 近世のガラス:フランスとイギリス 3. 19世紀のヨーロッパのガラス 4. アール・ヌーヴォーのガラス 5. アール・デコとモダニズムのガラス 6. チェコのガラス造形運動 7. スタジオグラス運動の展開 8. 近代日本のガラス 9. 現代日本のガラス	
到 達 目 標	1. 各時代の大きな流れを把握する。 2. 各時代に生じた、ガラス工芸史上で画期的な意味を持つ事象を把握する。 3. 各時代を代表する工房や作家たちの作品の理解を深める。		1. 各時代を代表する工房や作家たちの作品の理解を深める。 2. 19世紀末に生じた純粋美術と応用美術の区分を理解する。 3. 20世紀半ばに起こった新しいガラス造形運動の本質を理解する。	
成 績 評 価	出席状況/学習意欲/歴史上の画期的な事象の理解力/作家や工房の画期的な仕事の理解力/論理的な論述能力/独創的な着眼点など		出席状況/学習意欲/歴史上の画期的な事象の理解力/作家や工房の画期的な仕事の理解力/論理的な論述能力/独創的な着眼点など	
留 意 事 項			期末のレポートでは、特に独創的な着眼点と、論理的な論述能力を評価した。	